

家族の夢が広がる家。

KOMOTO STYLE

Vol.15
2017 Spring-Summer

AR搭載号

超断熱 体感型モデルハウス
「komachi」への行き方を
動画でチェック!

詳細は
裏面へ



お気に入りがたくさん詰まった、 家族の夢が広がる家

熊谷市・吉田邸

雲ひとつなく晴れ渡った空の下、白い外壁に木目調の格子が際立つ吉田邸。出迎えてくれたのは、ご夫妻と1歳7ヶ月の蒼太君です。温かい笑顔いっぱいのご家族に、取材スタッフ一同、幸せのお裾分けをいただきました！



試行錯誤の末の河本工業との出会い

「この場所に家を建てることは結婚前から決めていたんです」という、吉田さんご夫妻。先に土地を購入し、いくつかのハウスメーカーを回ってみたものの、希望とマッチせず悩んでいたといいます。そんなときに心強いアドバイザーになってくれたのが、数年前に河本工業で家を建てた、奥様のお姉さんご夫婦でした。「姉の家には何度も遊びに行って、満足して暮らしている様子も見っていました。それで河本工業さんとお話をし、一番安心できると感じました」と奥様。隣でご主人も、「家は一生の買い物ですから、やはり信頼できる会社に頼みたいですね」と大きくうなずきます。お姉さんからは、家づくりに関するさまざまなアドバイスももらったそう。「玄関脇にベビーカーや三輪車を置けるスペースを作ったのも、姉のアドバイスからです。コートをかけられるハンガーラックも設置してもらいました」。雨の日もレインコートを玄関にかけられるため、家の中が濡れずに済むそうです。また、浴室に棚を設置し、タオルや子どもの下着類を外から見えずに収納できるようにしたのも、お姉さんからのアイデア。ちょっとした工夫が、日々の生活を暮らしやすくしてくれるのです。



玄関脇にはハンガーラックを備えた荷物置きスペースが。三輪車を置いてもまだまだ余裕！

木目のイメージでシックなリゾート感を演出

室内は白と木目を基調とした、シックでありながらも温かみのある雰囲気。ご夫婦が「ハワイのリゾートをイメージしました」というリビングは、つい寛いでしまう居心地の良さです。

中でも目を引くのが、天井にあしらわれた大きな木の格子状の梁です。実はこのデザインは、設計担当の鎌田さんのアイデアによるものなのだとか。「初めての家づくりで分からないことだらけなので、鎌田さんを信頼して全てお任せしました。結果的に、お願いして大正解でした」とご主人が言えば、続けて奥様も「鎌田さんからの提案は、どれも私たちの好みにピッタリなものばかりだったんです」とニコリ。天井の格子状の梁も、ご夫婦で思わず「素敵！」と歓声を上げたそうです。



開放感のあるリビング&ダイニングで、家族の会話も弾みます

とはいえ、当初のプラン通りに進まなかった点もあるようで……。 「家相が気になって、設計プランを少し変更してもらいました。気にしない方にとっては全く問題ないことなんですけど、やっぱり家相も良い方がいいな、と思って」と奥様。鎌田さんに相談し、玄関の位置をずらすことで問題を解決しました。さらに鎌田さんのアイデアで、玄関ポーチと扉を開けた正面には木目調の格子をあしらい、屋外から室内へとさりげなくオシャレにイメージをつないでいます。これにはご夫婦も「家の雰囲気にマッチしていてとてもいいですね」と大満足の表情です。またこの格子は、玄関を開けたときに道路から室内が見えるのを防ぐ役割も担っています。機能性プラスアルファの、細やかな心配りが嬉しいですね。



リビングでひととき目を引く天井の格子状の梁は、ご夫婦の好みにもピッタリ！

玄関正面の格子が、シックなオブジェのよう



お気に入りの家&インテリアだから、リラックスして過ごせます！



妊娠中の打ち合わせも、大変なことは特になかったです。





リビングやキッチンからは子どもスペースの様子が一目でわかります

子育てのしやすさを考えた家づくり

家づくりの打ち合わせをスタートしたのは、蒼太君がまだ奥様のお腹の中にいる頃。着工したのは、生まれて間もなくの時期でした。そのため間取りなども、子育てのしやすさを念頭に置いて考えたそうです。

リビングの脇にあるのが、おもちゃや絵本が並ぶ子どもスペース。キッチンからも一目で見渡せるため、蒼太君が遊んでいる様子を、家事をしながら見守ることができます。「カラフルなおもちゃは子どもスペースにまとめて、できるだけリビングには置かないようにしているんです」と奥様。なるほど、だから小さなお子さんがいても雑然とした雰囲気が全くないのですね。



使いやすさなども工夫されたキッチンで、お料理もスイスイ♪またキッチンには時計などが置ける棚を設置。「とても便利です!」と奥様

和室にマットを敷いて子どもスペースに。広々空間でパパともたっぷり遊べます



そして「この子どもスペースは、実は和室なんですよ」というご主人。現在は畳の上にマットを敷いて使っていますが、蒼太君が成長して個室の子ども部屋を持つようになったら、和室に戻す予定だそうです。部屋のアクセントになっている雪見窓も、和室に合わせて作られたもの。でも今は、仕事から帰ってきたパパを、蒼太君がこの雪見窓からお出迎えするのにちょうどいいのだとか。ライフステージの変化を考えた家づくりは、さすがですね。



オシャレなドアの小窓は、室内の照明の消し忘れチェックにも役立つそう。淡いブルーのアクセントクロスとカーテンの色を合わせてスッキリと



ダイニングの壁の飾り棚には小物や家族の写真を

壁紙にもさりげない遊び心が

設計担当の鎌田さんとご主人は、偶然にも同い年。そのせいもあってか、お互いにとっても話がしやすかったといいます。「初めて会ったときから壁を感じずに気軽に話すことができました」とご主人。その言葉通り、ご夫婦の希望も気兼ねなく伝えることができたそうです。



「河本工業さんをお願いして大正解でした」とご主人

設計担当の鎌田さん



壁の1面だけをポップな恐竜柄に。明るいイエローによく映えます。またウォークインクローゼットの天井は、奥様こだわりのヒョウ柄

ヒョウ柄が大好きという奥様は、クローゼットの天井をヒョウ柄に! 「本当は壁をヒョウ柄にしたかったんですけど、それはさすがに主人に止められて(笑)。クローゼットの中なら……ということで、鎌田さんをお願いしました。鎌田さんも、この柄は初めて扱ったそうですよ(笑)」。各部屋の壁紙には、ほかにも遊び心がたっぷり。「鎌田さんが、2階の壁紙はいろいろと変えても大丈夫と言ってくれたので、思い切って“遊び”を取り入れてみました」というご主人のおすすめポイントは、2階にあるトイレです。「壁の1面だけを、かわいい恐竜の柄にしました。2階のトイレは基本的に家族しか使用しませんから、子どもが喜ぶ柄を選んだんですよ」。また、将来、兄弟が増えても大丈夫なようにと2部屋用意された子ども部屋も、それぞれ壁の1面だけがブルーとイエローに。カーテンの色も揃えて、明るくスッキリとしたイメージになっています。こんな素敵なお部屋なら、成長した蒼太君もきっと快適に過ごせますね。



親子で遊ぶのにピッタリな庭では、植えられたグリーンガリソートムードを一層高めています。リビングの外にはウッドデッキが広がり、「夏になったら家族で水遊びを楽しみたいな」とご夫妻。「今後は2階のベランダにサンルームも作りたいですね」と、夢はどんどんふくらみます。蒼太君の誕生とほぼ同時期に建てられた吉田邸。この家を中心にたくさんの家族の笑顔が生まれ、素敵な思い出が増えていくのでしょうか。

ご夫妻が「初対面の時から気構えず何でも話せた」という、設計担当の鎌田さんと



白い外壁に木目調の格子がいいアクセントに。家の雰囲気にマッチした表札はご友人によるオリジナル品





人に優しい家づくり講座

寒い冬でも
家中

ぽっかぽか

圧倒的な超断熱性能を実現する、次世代型住宅『komachi』。昨年12月、寒さの厳しい館林の冬も、その高い断熱性で、家の中はぽかぽかです。外は冷たい木枯らしが吹くこの日は、モデルハウス見学会を開催。実際にご来場いただいた皆様の、生の声をお届けします。

1

「厚い靴下いらすなんですね」 S様 (40代・邑楽郡邑楽町)

新築を検討中というS様ご夫妻。各部屋にドアがない『komachi』の造りに、「まるで外国の家みたい！」と驚きの声を上げていました。「オープンでありながら、間仕切りできちんと区切られているのがいいですね。落ち着いた雰囲気の内装も素敵です」と話してくれたのは奥様。将来を考え、家の中がバリアフリーであることも、気に入ったポイントだそうです。

現在のお住まいでは、冬場は足元がとても寒く、「厚い靴下を履かないとシモヤケになりそう」だといいます。『komachi』の超断熱性能を実感し、「家中どこにいても暖かい。外壁の断熱材も、セルロースファイバー210mmと聞いて驚きました」とご主人。奥様も、窓を指しながら「このトリプルサッシもすごいですね。『窓際は寒い』というイメージがありましたが、全くそんなことはありません」と、満足そうな笑顔です。屋根の形など、『komachi』の外観もお気に入りというS様ご夫妻。「大きな庇は趣があっていいですね。見ているだけで落ち着きます」と、話してくれました。



2

「寒いのは苦手ですが。。」 K様 (30代・太田市本町)

「寒いのが大の苦手」というK様。とくに冬の脱衣所の寒さには、毎年つらい思いをしているそうです。『komachi』を訪れてまずチェックしたのは、やはり浴室まわり。その暖かさに、「廊下も脱衣所も温度の変化を全く感じません。本当にエアコンは1台だけなんですか!?!」と驚きの表情です。現在のお住まいでは部屋ごとに暖房器具を使っているため、毎年冬は電気代の上昇に悩まされているんだとか。「超断熱性能の『komachi』なら、光熱費の節約にもつながりそうですね」と、笑顔で話してくれました。

部屋がドアで区切られていない造りについては、「開放感があって、家の中が広く見えます。木目のシックな雰囲気とのバランスもちょうどいいですね」とのこと。室内がオープンな造りになっているおかげで、重厚でありながらも、圧迫感を感じないといいます。キッチンなどの収納や、洗面所に設けられた室内干しスペースも、「こういった細やかな気配りが嬉しいですね」と、気に入っていただけだそうです。



▲一番寒い北西に位置する脱衣所でも寒さ知らず

3

「両親も気に入るはず」 K様 (30代・館林市大手町)

ご両親のための家づくりを検討中というK様。「バリアフリーでスッキリとした造りの『komachi』は、両親にとっても暮らしやすいのではないかと思います」と、ご来場くださいました。

もっとも印象に残ったというのが、家の中の暖かさです。「最近では、家の中の急激な温度変化によるヒートショックも心配です。でも、家中の温度が一定に保てる『komachi』なら、冬場も快適に過ごせそうですね」と、話してくれました。

大きくせり出した庇や、天然木を使用した趣ある面格子、軒天などについても、「天然木ならではの風合いで、とてもゆったりとした気持ちになります」というK様。「きっと両親も気に入るのではないのでしょうか」と、和の風情を堪能している様子でした。



▲風合いのある床材で足元あったか



平屋の魅力と超断熱性能をご堪能したい方は、ご体感をお待ちしています。

2017.3
series9

営業マン登場!

今回のテーマ▶▶ BELS (建築物省エネルギー性能表示制度)

プロが教える家づくり

最近耳にする「BELS(ベルス)」という言葉。どうやら建物の省エネ性能に関する制度のようですが……。家づくりには関係があるの?おなじみ営業マンの岡岡さん、教えてください!

Q.「BELS(ベルス)」とはどのような制度なのですか?

BELSとは、国土交通省が定めた「建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針」に基づく第三者認証制度。建物の省エネ性能に関する表示が一つ増えた、とイメージしていただければよいと思います。評価の対象となるのは、建物の一次エネルギー消費量。つまり、冷暖房や換気、照明、給湯などにかかるエネルギーを熱量換算した値ですね。これをもとに評価した省エネ性能が、5段階の星マークで表示されます。

は分かりません。住宅には、ほかに「住宅性能評価制度」「長期優良住宅認定制度」「低酸素建築物認定制度」といった評価制度があります。一般住宅の場合は、まだまだBELSの申請は少ないのが現状。一つの評価だけにとらわれるのではなく、総合的に見て納得のいく家づくりを考えてみてはいかがでしょうか。

Conclusion.

建物の省エネ性能を表す制度の一つであるBELSですが、家づくりの際にはあまり表示にとらわれなくても大丈夫そうですね。

Q.どんな建物がBELSの対象になるのですか?

以前までは、BELSの対象となるのはオフィスビルや店舗、工場、ホテルなどの「非住宅建築物」でした。マンションなどの共同住宅も、階段や廊下といった共有スペースがあるため非住宅建築物として扱われます。一戸建てのような住宅については、2016年4月よりBELS申請の受付が開始されました。

Q.では、家づくりをする上でもBELSに注目した方がいいのでしょうか?

BELSは建物の省エネ性能を知る一つの基準にはなりますが、評価の対象になるのは一次エネルギー消費量だけで、耐震性や耐久性、遮音性など



作画: 半田 公作



2月にカンボジアに行ってきました。カンボジアと言うとアンコールワットが非常に有名ですが今回は民家を見てきました。乾季の郊外の畑はまだ野菜や米を見ることができません。稲を刈り取った切株だけが延々と続いています。途中、民家をのぞいて見ました。(イラスト)一年中暑いカンボジアの住宅は高床式住居になっていて1階は物置と昼寝するためのハンモック2〜3本が柱に繋がっています。12時〜15時がお昼寝タイム。平均気温が28℃最高気温は48℃にもなるため、お昼寝タイムは大切な生活の一部です。



食生活には困ることはなく、家の隣にはバナナ、マンゴー、ヤシの木があり、手を伸ばせばすぐに取れるのです。また、整理整頓の習慣が無いので生活で使ったビニール袋等が散乱し、溜り水で洗濯している光景が目につきま。平均寿命も63歳くらいと聞き、病気にはなれない厳しい人生だと感じました。それでも一生懸命に働いている姿に好感を持ちました。物資が溢れる日本は本当に皆、幸せなのか?と感じています。皮肉なものです。

知っとく
ガイド

カンボジア
苦境のなかにも
笑顔あり

半田 公作

月末の金曜日午後は 超断熱 体感型モデルハウス『komachi』へ行こう!



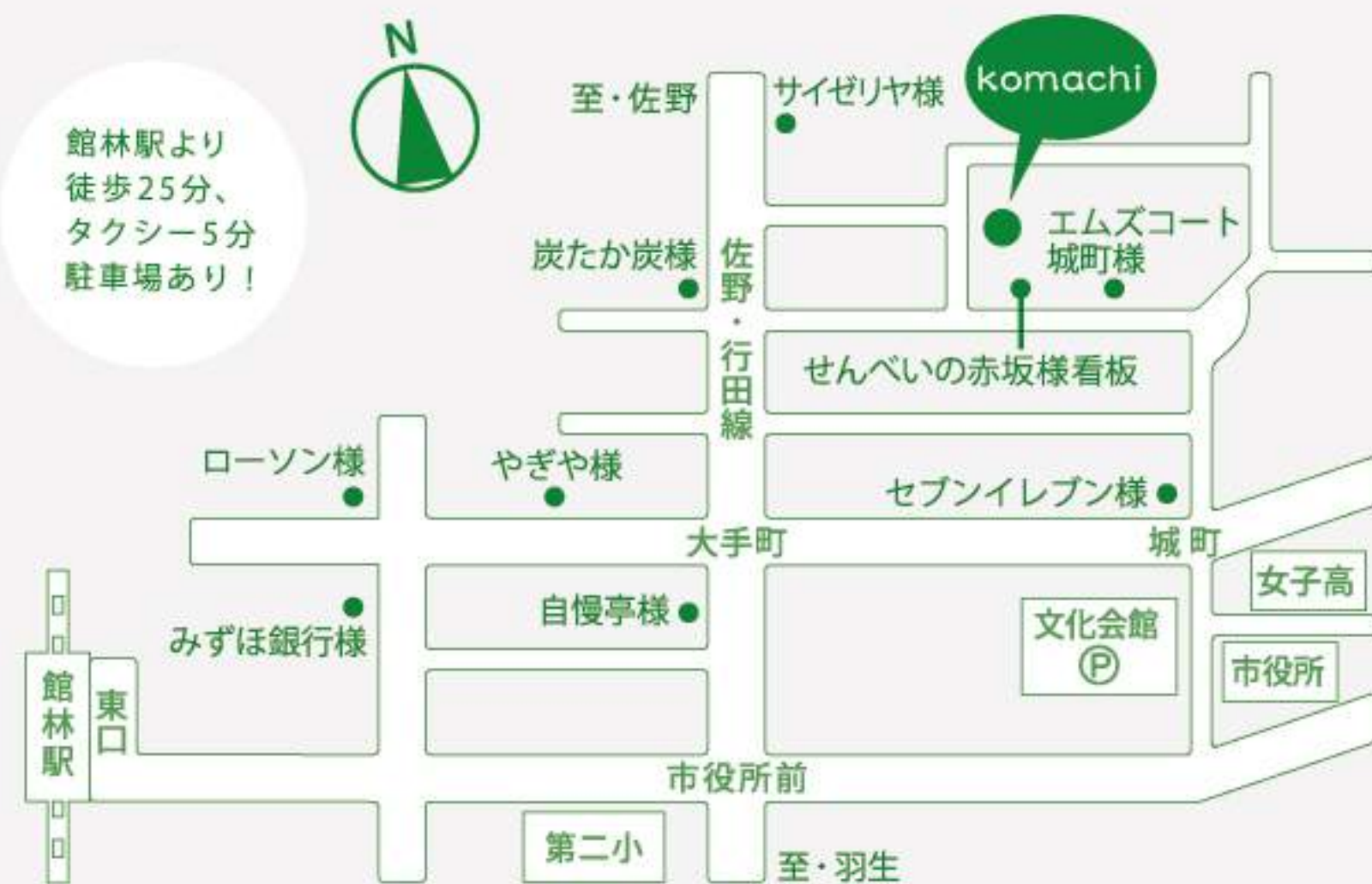
\おかげさまで1周年/ 超断熱 体感型モデルハウス『komachi』

高齢者配慮型住宅 耐震等級3 住宅性能表示制度対応 高い資産価値

見学をご希望の方はこちらからご予約ください。※予約制

電話予約受付時間 平日9:00~17:00 **0276-72-3325**

超断熱専用サイト [超断熱.jp](#) [検索](#) 住宅事業部専用WEBサイト [河本工業 住宅](#) [検索](#)



『komachi』所在地:〒374-0018 群馬県館林市城町11-5

現地までの案内動画をチェック!

マーカーにスマホをかざすと、現地までの行き方を動画でチェックできます。



無料アプリ『COCOAR2』をダウンロードし、下記のマーカーどちらかにスマホをかざすと動画がスタートします。



\御礼させていただきます!/\

新築住宅ご紹介キャンペーン実施中!

- 私たちの夢をカタチにしてほしい
- なんでも相談にのってくれる会社がいい
- 品質は大切だから
- やっぱり地元の会社がいいよね

みなさまのお知り合いやご友人に、住まいづくりをご検討の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。素敵な記念品をプレゼントいたします。また、ご紹介いただいたお客様がご成約となった場合にはさらに御礼をさせていただきます。

present for you!



WEB サイト、またはお電話にてご連絡お待ちしております。

メルマガ配信希望者募集中!

新鮮でお得な情報をお届けします。

メールマガジンの配信をご希望の方は、下記ご記入のうえ本誌を見学会にご持参ください。

名前 _____ 様

メールアドレス(パソコン/携帯電話) _____ @ _____

編集
後記

本号は一つの満足を繋いだ新しい笑顔をお届けする事ができました。今後も笑顔の輪を拡げていけるようスタッフ一同精進してまいります。次号もお楽しみに!

KOMOTO STYLE 編集委員会

STAFF

- PUBLISHER:kinsaku Handa
- EDITOR IN CHIEF:Satoru Yamamoto
- EDITOR :Kentarō Kamata
- SPECIAL THANKS CREATORS
W/Tomomi Kato,P/Masaaki Konno,
D/Maki Shono
- DIRECTOR:COIKI INC.

河本工業株式会社

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで

〒374-0057 群馬県館林市北成島町2544 | リフォームのご用命はこちら ☎ **0120-75-9188**

TEL.0276-72-3325 FAX.0276-72-3327 | www.komoto-style.jp [河本工業 住宅](#) [検索](#)